

### 特別会計の決算

特定の事業を行うために、一般会計とは区別して経理される特別会計の決算は下表のとおりです。決算の差引額については、それぞれ令和2年度へ繰り越しました。

会計	歳入 (前年度比)	歳出 (前年度比)	差引額	概要
国民健康保険事業特別会計	30億9,688万円 (▲1.9%)	30億3,346万円 (+1.4%)	6,342万円	保険給付費
介護保険事業特別会計	22億4,949万円 (+3.3%)	21億2,132万円 (+2.0%)	1億2,817万円	介護サービスへの給付費
後期高齢者医療特別会計	2億7,161万円 (+2.9%)	2億6,671万円 (+2.9%)	490万円	後期高齢者医療広域連合への納付金
農業集落排水事業特別会計	3億2,216万円 (+1.6%)	3億1,737万円 (+1.6%)	479万円	4地区処理施設の維持管理費

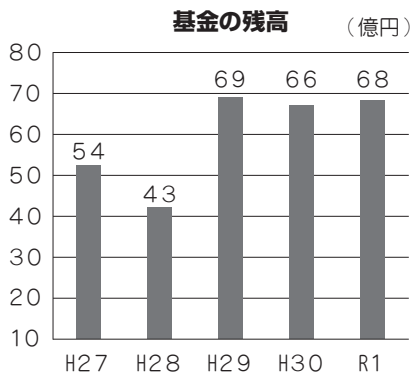
### 基金の残高

基金とは町の貯金に当たるもので、様々な目的のために資金の積み立てを行っています。

一般会計、特別会計を合わせた町全体の基金の令和元年度末残高は、**68億3,449万円**(前年度比+2億441万円)となりました。

令和元年度は、財政調整基金からは財源確保のため、また、町営住宅施設整備基金や社会福祉基金などからは事業の財源に充てるため、取り崩しを行っています。

公共施設等総合管理基金(前年度比+1億10万円)は、計画的に積み立てを行っています。

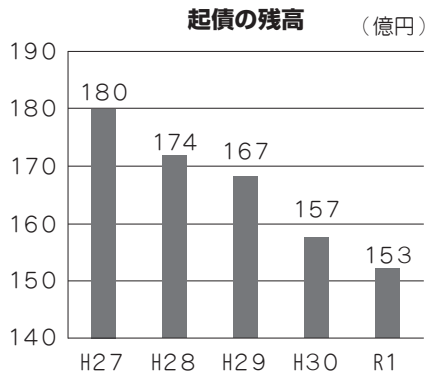


### 起債の残高

起債とは町の借金に当たるもので、主に建設事業の財源として国や金融機関から借り入れるものです。毎年の支出の平準化や、住民負担の世代間調整を図る意味があります。

一般会計と特別会計に、水道事業会計と下水道事業会計の企業会計を合わせた、町全体の起債の令和元年度末残高は、**152億8,935万円**(前年度比▲3億6,932万円)となりました。

道路整備事業や体育センター改修事業、公共下水道事業などのために、総額10億7,020万円を新たに起債しました。これは令和元年度中の元金償還額を下回るため、総残高は前年度よりも減少しています。



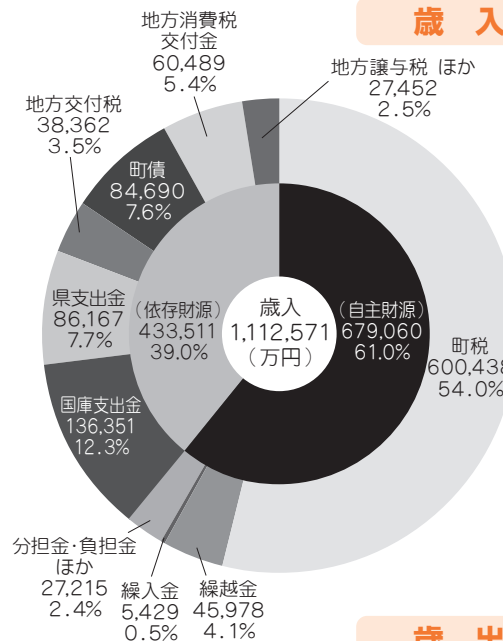
▶問い合わせ先=企画課 財政係 ☎9119

## 令和元年度 決算の報告

令和元年度(平成31年4月~令和2年3月)の決算がまとまり、9月議会において認定されましたので、その概要についてお知らせします。詳細な数値や、公営企業会計となる水道事業会計及び下水道事業会計の決算などについては、町ホームページをご覧ください。

一般会計の決算額は、**歳入111億2,570万8,658円**(前年度比+4.5%)、**歳出105億1,843万5,063円**(前年度比+3.3%)となり、**差引額6億727万3,595円**は令和2年度へ繰り越しました。

### 歳入



町税収入は、前年度と比較して**2億8,641万円(▲4.6%)の減収**となりました。法人町民税が3億4,050万円の減収となっており、町内企業を取り巻く状況は厳しいものとなっています。

地方交付税は、2年ぶりに普通交付税の交付団体となったことで、**2億5,853万円の増(+206.7%)**となりました。

交付税の不足分を補う制度である臨時財政対策債や、建設事業費に充てる借入れを行ったことなどから、**町債は、6億3,850万円の増(+306.4%)**となりました。

その一方で、基金の取崩しなどによる**繰入金は4億9,898万円の減(▲90.2%)**となっており、歳入総額における**依存財源の割合は、前年度比9.4ポイント**高くなっています。

### 歳出

目的別に見ると、**民生費の割合が一番多くな**っています。社会保障に対する事業費が年々増加傾向にあることに加え、令和元年10月から開始した**幼児教育・保育の無償化**により、保育所や認定こども園などへの運営費用等が増加しており、前年度から**1億6,866万円の増(+4.6%)**となりました。

次に多いのは**土木費**となっており、社会資本整備総合交付金(国の補助金)を利用して進めている**道路整備事業**(3億6,899万円)などの事業を計画的に行っています。

また、令和4年度に開催予定のいちご一会とちぎ国体に向けた、**体育センター改修事業**(1億6,404万円)の実施などにより、**教育費は前年度から1億4,841万円の増(+14.2%)**となっています。

